

《 令和5年度 PDCA サイクル実施計画・管理表 》

令和6年3月末現在

部署名	P 実施計画				実施管理				
	課題名	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D 実行	C 評価		A 改善	
					区分	実施内容	区分	次年度の改善内容	
看護部	がん医療に携わる専門的な医療従事者の育成	1. 都道府県がん診療連携拠点病院として、最新の治療や専門的ながん看護について研修を通して提供する必要がある。多施設の研修生を受入れることが制限される中でも昨年度好評であったオンラインでの研修を計画する必要がある。	1. がん診療連携拠点病院の強化事業として、「がん看護コアナースセミナー」を昨年度と同様にオンラインで開催する。 研修テーマは毎年最新の治療法や看護が発信できる内容とする。 1)「がん患者さんが死にたいと言われたとき」をテーマに、講義とGWによる事例検討を3日間に分けて行う 2) 病院HPへの掲載や地域の拠点病院への発信など、効果的な宣伝活動により参加者を募集する 3) 運営や講師・ファシリテーターについては、当院のCNSやCNが参加し、専門的関わり(困りごとの解決や支援方法の提案など)を行う	8月25日 9月1日 9月8日	○	達成	前年度に引き続き「がん看護コアナース育成セミナー」を、8月25日・9月1日・9月8日の3日間、Webで開催した。院内1名を含む21名の応募があり、うち全回に参加した19名に修了書を交付した。参加者は最後まで熱心に聞くことができ、時間配分は適切であった。しかし、Zoom講義では質問が出にくい、テーマに関して臨床で困っていることや質問を事前に集めておけば、もっと講義内容と実践を結びつけて考えることができたのではないかと考える。3日目の事例検討では活発な意見交換ができ、明日への具体策まで導くことができた。 以上より、参加者の看護実践能力の向上に役立つ研修会となったと評価する。参加者の目標は概ね達成できた。	継続	次年度もリモートによる研修を開催する。講義とGWでの事例検討は好評であったが、一部受講生より見学実習の要望があったため、オンラインでの開催に加え、希望者の見学実習を受け入れる形での研修を企画する。
		2. がん専門病院として最新の治療に対する看護実践力を向上させる必要がある。	2. 専門・認定看護師や有資格者の実践力が向上する。 1) CNSCN会を活用し、がん患者指導管理とお料取得数増加をはかる 2) CNSやCNがコンサルテーション事例を通してスタッフのがん看護に関する実践力が向上する支援を行う	CNSCN会 は年5回	○	達成	CNSCN会を活用し、がん患者指導管理料取得のためのシステムを更新した。その結果、。昨年度並みの取得件数が得られたコンサルテーションについても、依頼件数が増え、事例検討を実施するなど積極的に活動した。	継続	がん患者指導管理料取得可能なスタッフがため、次年度は更なる取得件数増加へ向け、CNSCN会を活用し継続して活動する。
		3. がんセンター独自の研修方法を有効に活用して教育計画に基づいた研修を行う必要がある。	3. ともタン研修と集合研修を合わせた研修を開催し人材を育成する。 1) ともタン研修と集合研修を年間計画に基づいて開催する 2) 院内講師はCNSやCNを活用し講義を行う 3) OJT支援方法と達成課題を明確にする 4) 看護部ジェネラリストラダーで個別に評価を行う	研修の年間計画に基づく	○	達成	ともタン研修と集合研修を組み合わせ、研修を計画し、予定通り実施できた。	継続	次年度も同様にともタン研修を組み合わせ、効果的な研修計画を立てて実施する。

(注)実施管理・区分欄の記入について

C 評価における区分は、「達成」「概ね達成」「未達成」から、A改善における区分は、「完了」「継続」「その他」から、それぞれ1つ選んで記入する。

D 実行欄には、達成度等を考慮して、○、△、× を記入する。